

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和4年2月1日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働



愛ガード運動協力員へ感謝状を贈呈

愛ガード運動は平成17年度より「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、地域のボランティアの方々へ愛ガード運動協力員として、児童等の登下校園時等における見守りや見回り、交通安全活動を中心とする安全確保にご協力いただいております。

毎日、雨の日も、暑い日も、寒い日も、子どもたちのために通学路に立ち、安全確保とともに温かい声かけをしてくださっている愛ガード運動協力員の方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

例年、各学校において感謝の集いや学校行事への招待など、工夫しながら感謝の気持ちを伝えさせていただいています。

今年度は東大阪市教育委員会として、各校区推進委員会より推薦いただいた愛ガード運動協力員の方々に、長年の活動に対して感謝の意を伝えるため、感謝状を贈呈しています。

贈呈の方法、時期については、各学校で検討をさせていただいているところです。



【愛ガード運動協力員さんの声】

- ・感謝状をもらったことは非常にうれしかったです。もっと地域の子どもたちのために頑張ろうと思いました。
- ・子どもたちにあいさつをした時に元気に返事をしてもらえることがとてもうれしいです。
- ・子どもたちの笑顔からとても元気をもらい愛ガード運動にやりがいを感じます。



【子どもたちの声】

- ・素敵な笑顔で「行ってらっしゃい」「おかえり」とあいさつしてくれて、うれしい気持ちになります。
- ・いつもみんなを見守ってくれてありがとうございます。
- ・毎日パトロールしてくれてありがとうございます。
- ・最初はあいさつするのが恥ずかしかったけど、今は大きな声で元気よくあいさつが出来るようになりました。
- ・暑い時も寒い時もあいさつしてくれてありがとうございます。



子どもたちの探求的な学びを創る TRY KAP コンテスト

東大阪市では、「学校や社会をよりよくするために、自分たちのできることを」をテーマに、児童・生徒が考えたアイデアをプレゼンテーション動画で募集する「知の冒険企画(Knowledge Adventure Project)」として TRY KAP コンテストを実施しました。

小学校の部の最優秀賞作品では、「水の問題」に着目し、節水のための手立てが提案されました。シャワーの水を1分間出し続けると2Lのペットボトル約6本分の水の量になる等、社会課題を日常生活の場面と関連させて紹介し、相手に分かりやすく伝える工夫が見られました。また**中学校の部の最優秀賞作品**は、「フードロス」問題を取り上げ、給食の残量を減らすための方策を考えていました。アンケート調査を正確なものとする工夫として、選択肢(ご飯の量)を画像で示すなど、ICT機器を有効に使った学びがみられました。また、考えた方策を行動に移している様子にも主体性が感じられました。他の応募作品も、今年度1人1台配備されたタブレット端末を有効に活用しており、身の回りの課題を自分事として捉え、その解決のために調査したり考えを深めたりする様子がうかがえました。

このように、様々な教科で学んだ知識や技能を使って、身のまわりの課題を発見したり、深めた考えを相手に説得力をもって伝えたりする力は、これからの社会をよりよく生きる上でなくてはならない力です。これからも、子どもたちの深い学びにつながる授業や教育活動を実施していきます。



野田市長より表彰される様子



子どもたちにお褒めの言葉をいただきました

最優秀賞受賞者には賞状やトロフィー、メダルに加え、「トライくん」のぬいぐるみも贈呈されました



入賞作品紹介

小学校の部

最優秀賞・・・「水の問題」 (枚岡西小学校)
 優秀賞・・・「ニュースをおとどけます！」 (英田南小学校)
 特別賞・・・「みそあじ」 (英田南小学校)

中学校の部

最優秀賞・・・「フードロス～残食量を減らすために～」 (布施中学校)
 優秀賞・・・「コロナ差別について考えてみた」 (布施中学校)
 特別賞・・・「皆にやさしいマークを広めたい！」 (若江中学校)

発達障害にかかる

巡回相談事業を行っています

『東大阪市立障害児者支援センターレピラ』に協力いただいて巡回相談事業を行っています。

○巡回指導とは？

東大阪市立障害児者支援センター児童指導員が、園児・児童・生徒の学校園生活(授業・保育等)の様子を観察し、学校園における指導や子どもの発達障害に係る特性をふまえた個別の支援内容や環境づくり等について共に考え、助言を行う事業です。

また、巡回相談を通して、学校園の支援体制の見直しや、対象の子ども支援のみならず、他の子どもたちへの支援の手立てを探るきっかけとするなど、「先生方への支援」も目的の一つです。

対象・・・発達障害の診断を受けている園児・児童・生徒

募集・・・4月に学校園から申し込み(保護者の同意が必要)

回数・・・計3回(申し込み年度2回、次年度1回)

内容・・・【20分の観察】
 通常学級、支援学級等本人の課題がよりわかる場面で設定
 【50分の相談・指導助言】
 個別の連絡票と参観の様子を基に具体的な支援についての助言

○学校園からの声

- ・アドバイスをもとに、1日のスケジュールや1時間の学習予定を可視化することで、児童が学校生活や学習などに見通しを持つことができ、学習などに積極的に参加する姿が増えました。
- ・具体的な助言なので学校がすぐに取り組むことができ、子どもの支援につなげることができています。など

